

一般質問通告書

受領日時 令和 2年 9月 1日 午前10時15分

5番 氏名 椎名 志保

質問項目	質問の要旨
1. 新型コロナウイルス感染症対策について	<p>(1) 8月25日、県は秋田中央保健所管内で新型コロナウイルス感染者が発生したことを発表した。当該市町村の公表はなく、そのことで住民の不安は募り、混乱を招いた。個人を特定する情報提供ではなく、正しい情報が発信されることで住民に心の備えが出来たのではないか。町長の見解は。</p> <p>(2) 感染者や家族、医療従事者に対する人権への配慮、差別・偏見・誹謗中傷の禁止、デマに注意といったことを町として強く発信すべきではないか。同時に県に対しても適切な情報開示と合わせ、町として対策を求めていくべきではないか。</p>
2. 第7期介護保険事業計画の振り返りと第8期の見通しについて	<p>(1) 今年度は「五城目町高齢者福祉計画 第7期介護保険事業計画」の最終年である。これまでを振り返り、そのデータをどうとらえ、どう分析しているか。</p> <p>(2) 適切な介護予防を行うためには、介護要因を明確化することが必要であり、それをを用いて効果的に行われることが大事である。昨年度の新規介護申請に対する認定要因の分析はどう行われているか。</p> <p>(3) 医療保険制度の適正かつ効果的な運営を図るための健康保険法が一部改正され、この4月から高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施が行われることとなった。どのように進められているか。</p> <p>(4) 介護予防教室が自主グループでの運営に移行し、活動されていた介護予防サークル「ひまわり会」が解散された。町として何か力になれなかったのか。他の自主グループの活動状況は。</p> <p>(5) 体育協会会員や町の人材を発掘し、育成して一般介護予防の講師に活用されてはどうか。</p> <p>(6) 地域における高齢者の生活支援・介護予防を進めていくためには「生活支援コーディネーター」の活用が、より必要となってくる。増員を含め、携わる人材を補強する必要はないか。</p> <p>(7) 第7期の検証を踏まえ、第8期をどう展開していくのか。見込みとして保険料の設定をどう考えているか。</p>

<p>3. 移住・定住対策に具体的な施策を</p>	<p>(1) 町外からの移住、若い世代が定住するためには雇用の場が必要である。3月定例会において「当町への企業進出の検討を進めている事案が3件ある」との説明があったが、その事案はその後どうなっているか。</p> <p>(2) 美郷町にアウトドア用品の大手企業が直営店を出店した。直営店を活用したアウトドア観光の確立を目指すとしている。森山の活用など、町の地域特性を前面に押し出し、企業誘致に取り組んではどうか。</p> <p>(3) 移住の決め手の一つに住まいの確保が上げられる。空き家活用推進事業を用いて、具体的な施策に取り組むべきではないか。</p> <p>(4) 町外に土地を求め、家を建て、移り住む若い世帯が後を絶たない。町を出る理由を聞き取りし、引き留める具体的な手立てを講じるべきでないか。</p>
<p>4. 職員が研修を受けやすい環境作りを</p>	<p>(1) 職員の人材育成、能力開発は今後の町の行財政運営には不可欠だ。昨年度の職員研修の実績、今年度の計画、予算はどういったものか。</p> <p>(2) 職員が研修に出やすい各課室の環境整備は行われているか。研修が業務のひとつとして割り当てられ、積極的に送り出す体制が必要でないか。</p>